

# 畦地梅太郎



## わたしの山男



2019年7月6日(土) - 9月23日(月・祝)

町田市立国際版画美術館



A 「冬の山男」 1955年

山の版画家・あぜち うめたろう畦地梅太郎（1902-99）の作品に登場する表情ゆたかな「山男」やまおとこたち。

山に登る前の高まる気持ち、厳しい自然の中でライチョウに出会いなごむ心、山頂で目にした深く濃い青空。ひたすら山を歩き、心うたれたものを木版画で表現しつづけた畦地にとって、彼らは「わたしの心の山男」だったのです。町田市名誉市民でもある畦地の「山男」シリーズを中心とした約100点を展示します。



戦後である。単なる山の景色を描くことのむなしさを思うようになり、山男といっても、近代スポーツ的な山男ではなく、真実山そのものの好きな山男を版画に作るようになった。誰をモデルにしたのか、と、以前はよくきかれ、がっかりしたこともあったが、モデルなどあるはずがない。わたしの心の山男である。

畦地梅太郎「山にかえる心」より 1972年

「山の版画家」、畦地梅太郎（1902-99）。自ら山を歩き、その経験から生み出した作品で、今も広い世代の人々に愛されています。1970年代中頃に移り住んだ町田市鶴川で晩年を過ごし、町田市の名誉市民ともなっています。

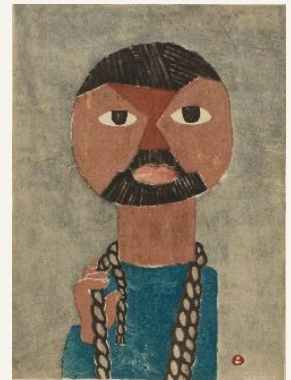


B 「小雪溪」 1955

愛媛の農村に生まれ、16才で故郷をあとにした畦地はさまざまな仕事についたのち、版画をつくり始めました。創作版画運動の先達や仲間たちにならい、都会や故郷の風景を描いていた畦地がたどりついた主題、それが「山」でした。浅間山、石鎚山…、決して大きいとはいえない版画の画面に、大きく力強い山のすがたを描き、「山の版画家」としての評価を確立しました。

畦地の作品は、「山男」の登場で一変します。1952年の国画会秋季展で発表した「山男」の作品は、それまでの山の風景に親しんでいた人びとに驚きを与えました。素朴で温かな山男は人々の心をつかみ、「山男」は畦地作品の代名詞となっていきました。

畦地は自らの表現と造形を追求し、常に先に進もうとした版画家でした。自身が<sup>よわい</sup>齢をかさね、時代とともに美術表現が移り変わっていくなかでも、自分自身の心をうつものを表現することに<sup>しんじ</sup>真摯にとりくみつけました。「山男」シリーズを中心とする100点の作品を通して、畦地が「山男」を通じて伝えたかったものは何かを探ります。



C 「山男(二)」 1953



D 「鳥のすむ森」 1975



E 「山のよろこび」 1957



F 「山の家族」 1975

# — モデルなどあるはずがない。私の心の山男である。

山の版画家として知られ、広い世代に親しまれている畦地梅太郎は、晩年を町田市鶴川に送り、名誉市民ともなっています。没後20年を記念する本展では、山男シリーズを中心に約100点を展示します。



## 関連イベント

\*変更になる場合があります。

②～⑤はいずれも2階企画展示室1で行います。  
観覧券をご用意のうえ、展示室入口にお集まりください。

### ① 講演会「畦地先生と町田」

8月3日（土）13:30～15:00

河野 実

（元町田市立国際版画美術館学芸員）

1階講堂、定員100名、申込・参加費不要

### ② 特別ギャラリートーク

7月31日（水）14:00～

畦地 堅司（畦地梅太郎ご令孫、あとりえ・う）

### ③ 山の歌声

7月27日（土）14:00～

奥村 浩樹

9月15日（日）14:00～

大石 洋史、佐々木 典、正木 庸平

展示室でなつかしい山の歌をお楽しみください

### ④ 畦地さんの「作文」を聞こう

8月10日（土）14:00～

温かな人柄を感じさせる畦地エッセイの朗読です

### ⑤ 担当学芸員によるギャラリートーク

7月15日（月・祝）14:00～

### ⑥ あなたの推し山男は誰？ 夏休み！山男総選挙

7月20日（土）～9月1日（日）

お好きな山男に1票を！

### ⑦ プロムナード・コンサート 「ピアノで探す 世界の山の風景」

7月13日（土）① 13:00～

② 15:00～

山口 友由実（ピアノ）

各回30分程度、エントランス・ホール  
（座席のご用意はございません）

## 小中学生対象イベント

\*⑧⑨は事前申込不要。会場に直接お越しください。  
混雑時はお待ちいただく場合があります。

### ⑧ 夏休み！版画体験イベント

7月26日（金）14:00～16:00

所要時間10分程度

1階講堂、先着70名、無料

協力：女子美術大学版画研究室

### ⑨ 復刻浮世絵版木・摺り体験

8月31日（金）14:00～16:00

所要時間5分程度

1階アトリエ、先着40名、参加費100円

## 展覧会概要

**展覧会名** 「畦地梅太郎 わたしの山男」展

**会 期** 2019年7月6日（土）から 9月23日（月・祝）

♪月曜休館、ただし7月15日、8月12日、9月16日、23日（月・祝）は開館、翌火曜日休館

平 日 10:00～17:00（入館は16:30まで）

土・日・祝日 10:00～17:30（入館は17:00まで）

**会 場** 町田市立国際版画美術館 企画展示室1

小田急線・JR横浜線町田駅から徒歩15分

**入場料金** 一般 800（600）円／大学・高校生と65歳以上 400（300）円／中学生以下は無料

・以上の観覧料で「インプリントまちだ展2019 田中彰 町田芹ヶ谷えごのき縁起」も  
ご覧いただけます

・（ ）内は20名以上の団体料金

・身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者保健福祉手帳を  
ご提示の方と付き添いの方1名は半額

・展覧会初日7/6（土）は入場無料

**同時開催** 企画展示室2

「インプリントまちだ展2019 田中彰 町田芹ヶ谷えごのき縁起」

2019年7月6日（土）から 9月23日（月・祝）

常設展示室

「若き畦地梅太郎の仲間たち—1930-40年代の日本版画」\* 入場料無料

2019年6月26日（水）から 9月23日（月・祝）

**お問合せ先** 町田市立国際版画美術館 学芸係

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

Tel. 042-726-0860/2771 Fax. 042-726-2840

たかのしおり  
高野詩織（広報担当）bunspo040\_07@city.machida.tokyo.jp

わなじょう えり  
和南城愛理（展覧会担当）e.wanajou@city.machida.tokyo.jp

<http://hanga-museum.jp/>

画像データ、プレゼント用招待券のお問合せは上記まで

件名に【畦地展広報】とご記入の上、

A～Fからご希望の画像をお知らせください。



 @machida\_hanbi